

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 03 月 07 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	杉浦 一雄
研究課題	日本文化日本文学研究				
研究キーワード	文化・文学・神道・源泉・源氏物語・古事記	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

今年度は新型コロナウイルスの影響で、現地調査に出かけられず所期の目的を達成することができなかった。今年度前半で変更を余儀なくされ、かねてから要望していたパソコンの購入に充てて方向転換を図った次第である。時間のかかる著書の出版にむけ、その準備にもいそしんだ。もちろん、それでも研究はつづけてきたが、図書館の利用制限が研究にとって致命的となり、とくに日本文化日本文学の専門書を多く蔵している和洋女子大学の図書館に入館できないことが今もつづき、それが大きく響いた。なんとかそれをカバーしてきたつもりではあるが研究の立ち遅れはいかんともしがたく、毎年みずからに課してきた学術研究論文の発表を来年度に送るという苦渋の選択をしなければならなかった。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】なし。

【著書・論文（査読なし）】なし。

【学会発表等】なし。

3. 主な経費

10 万円を越えるパソコンを購入し、これまで現地調査に際しておこなっていた現地調査の写真が取りこみやすくなり簡便で整理しやすくなったため、大いに研究に寄与しているものと思われる。その他の経費はパソコン周辺機器の購入、他大学図書館への書籍運搬費の支払い、学会費の支払い、文房具の購入などに充てた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。